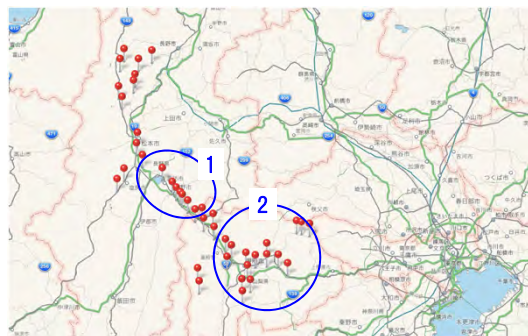


雪氷防災研究センターが行った 発達した南岸低気圧による平成 26年豪雪災害調査 2(速報)

雪氷防災研究センター



長野県～山梨県の調査地点
(写真撮影を含む、2月18日～ 継続中)

急速に発達した南岸低気圧の影響で、山梨県内は2月14日未明から15日午前まで雪が降り続き、最大積雪深は甲府が114センチ、河口湖が143センチとなり、いずれも観測史上最大を記録しました。その雪の影響で、各地の道路で車の立ち往生、高速道路の通行止めが発生し、鉄道各社も電車の運行を見合わせるなど県内の交通網はまひ状態となりました。また3000世帯以上が停電するとともに、雪崩などによって多数の集落が孤立しました。孤立した世帯は、一時は2000世帯以上に達しました。

それを受け、雪氷防災研究センターでは、山梨県内の豪雪被害の緊急調査を行いました。また、関係自治体等(山梨県、甲府市、ネクソコ中日本等)の依頼をうけ、集落孤立解消のための道路の通行止め解除に向けた道路周辺の雪崩調査を行うとともに、豪雪対策協議会等に専門家として参加し、アドバイス等を行っています。

現地調査の結果、山間部の道路沿いでは、いたる所で表層雪崩が確認されました。この表層雪崩は、低気圧の北側の雲からもたらされた、雲粒が少なく結合力の弱い降雪結晶からなる積雪層によって発生したと考えられます。さらにその後の気温の上昇とともに、多くの全層雪崩が発生しています。

国道20号 諏訪～甲府(地図上の1)



長野県茅野市 国道20号線沿
道路法面で発生した表層雪崩



長野県富士見 すずらの里駅
駐車場で雪で完全に埋まった自動車と駅への入り口



山梨県北杜市 国道20号線
開通後もすれ違いに苦労
日陰の車線(右)が雪がとけず狭い

山梨地域(地図上の2)



山梨県笛吹市 国道20号線沿
雪の重みで潰れた屋根



山梨県笛吹市石和町
雪の重みで潰れた病院玄関前駐輪場



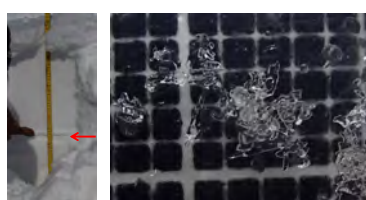
山梨県甲府市街地の歩道除雪



甲府市住宅街
除雪が間に合わず
一人一人しか通れない歩道



山梨県上九一色村 358号線沿 雪崩の堆積物の調査



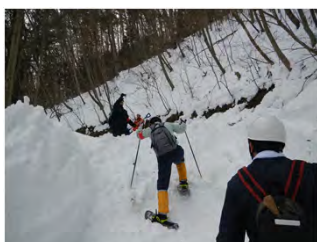
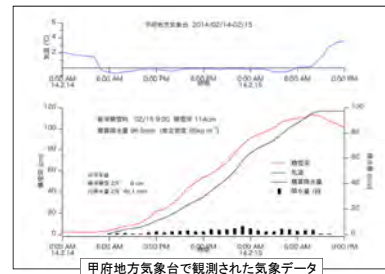
弱い積雪層(矢印)とそこから採取された結合力の弱い降雪結晶



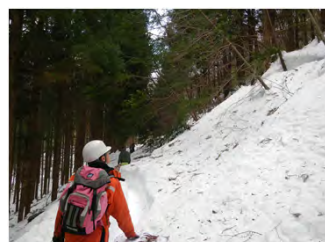
山梨県 300号線沿 本栖湖
雪崩で破壊された道路脇の柵



山梨県丹波山村 411号線沿
雪崩で埋もれた道路の除雪後の安全確認



雪崩危険地帯を通過して孤立集落の住民救助を行う
市職員の安全確保のため集落まで同行(甲府市)



甲府市職員に雪崩危険斜面の
応急対策をアドバイス



県道の雪崩対策緊急点検を実施し、
応急対策を山梨県にアドバイス